



有料職業紹介 つしま紹介所 (0567) 26-1281  
 訪問介護 ナイス・ケア (0567) 26-3699  
 通所介護 ナイス・デイ (0567) 26-1282  
 宅老&託児 ナイス・ホーム (0567) 26-1282  
 E-mail info@s-o-s.co.jp  
 ホームページ http://www.s-o-s.co.jp

vol. 50(平成16年10月08日発行)

(有)サポート・ワン・サービス 愛知県津島市愛宕町4-113 〒496-0036  
 代表TEL:(0567) 26-3921/FAX:(0567) 26-3922



# バーベキュー



よく晴れて気持ちの良い日、ナイス・デイ開設後、初めての試みでもある野外バーベキューを行いました。  
 午前中、何かの話題に出たのがきっかけで、いつものように急遽決まり、バタバタと準備に追われ、食べ始められたのはお昼時間を過ぎてからでした。炭の火力が弱く、せつかくのお楽しみ「鳥もも肉の丸焼き」は室内で調理。スタッフは「野菜を沢山食べたほうがいいよ〜。」なんて言いながら真心込めて野菜を焼いていました(笑)。  
 最後は「今回は練習だったと思って次回に期待してね！」で締めくくりました。

今年の秋は、夏の暑さが厳しかったからか体調を崩される方が多く、9月にも数名の利用者さんのデイ利用が難しくなっていました。これからの時期は風邪をひきやすくなりますので気を付けて下さい。

## デイ・サービス利用状況 (定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
9名	8名	8名	6名	8名	7名	4名

## ナイスな勉強会・・・「薄味って? (味覚)」

訪問介護サービスの内容に食事作りがある場合、「〇〇〇の持病があるので、薄味にしてください。」等の依頼をされます。(もちろんデイサービスで食事を提供する際にも同じことがいえます)。

私達は『薄い味付けでおいしい料理を作ること』を心がけるのが大前提。

そこで、薄い味付けとは一体どれくらいの味が薄味なのでしょう?

例えば、家族からは「味が濃かったからもう少し薄くするようにしてください。」と注意を受けた場合。

サービス中、いつもと同じ薄味で調理し、利用者さんに「ヘルパーの味付けが濃かったら、しょう油辛いとか、塩辛いとか教えて下さいね」と直接話しました。ところが、「あんたたち(ヘルパー)の作ったもんは丁度いいよ。あの子(家族)の作るご飯はちょっと味が濃いけどなあ・・・。」「あ・・・、そうですか。ありがとうございます。」なんてこともあるのです。(注:この利用者さんは見当識障害や物忘れなど痴呆症状が全くない方です。)

今年の6月発行の通信に「比べてみよう」というテーマで味付けの比較をしたことがあります。そのときにも感じましたが、4つの基本味(①あまい②しおからい③すっぱい④にがい)+それに本能的に好む味⑤うまみに対しては個人の嗜好が強く表れます。人間の舌の機能(上の図参照)のどの部分が発達して何の味を強く感じるのか・・・、これは本当に十人十色です。

「美味しいと感じてもらいたい!!」とって、うまみ調味料を使いすぎるのは身体に良くありません。

そこで、風味を加えたりして工夫をしてみます。調理をした者が「自分で味見したけど薄味すぎて食べる気がしない」というのでは食べていただくのが申し訳なくなってしまいます“個々人の味覚と食べた時の料理の温度”が味を左右するといえます。一言に薄味といいますが、とっても難しいこと。しかし、感じたことは教えて頂かないと分かりません。ヘルパーのためにも何か気付いた時には一声掛けてくださいな。次回のテーマ・・・「適度な運動」



## ナイス家の畑

～ 栗ご飯 ～



栗むきはちよいと疲れるね

利用者さんに大好評だった  
栗ご飯定食



### スタッフの独り言・・・

こんにちは。

私は、おばあちゃん子で育ちました。おばあちゃんは法語が大好きで几帳面な人でした。よく乳母車に乗せられ、お寺やお餅屋さん連れて行ってもらったのを覚えています。

私がこの仕事に就いたのも、おばあちゃんに会えるような懐かしい感覚に惹かれたせいかもしれません。利用者さんの色々なお話を伺うたびにおばあちゃんを思い出すこの頃です。これからもよろしくお願いします。



M・N

### 編集後記・・・

先日、訪問にまわっていたスタッフの車の前ガラスにガムがつけられてしまいました。各家庭を訪問する際、その家庭に訪問したヘルパーの車を止められるだけの駐車スペースがない場合が多く(ないのが当たり前ですけど・・・)、ちょっと離れた停めやすそうな場所に路上駐車しておいたり、危ないな～と感じる場所だと近くにある有料駐車場を利用したりしていました。なにか良い方法はないのかなあと思索していたところ、津島警察署から、「道路駐車許可証」というものが出るよと話を聞き、申請を行い、各スタッフの車ごとに用意する事ができました。でも、路上駐車に変わりはありません。ご近所の方に迷惑になるような場所があれば教えて下さい。(H)

### N家の介護便り 第10通



今年は大雨やら地震やら本当に多かったですねえ。

お母ちゃんは、防災訓練の講習会に参加して少し知恵を譲っていただけたらしく、早速我が家にも防災グッズを備えています。

お父ちゃんのベットにも懐中電灯と携帯ラジオが置かれたようですが、当のお父ちゃんは夜更かししたい時に懐中電灯を使用。まず、懐中電灯はテレビのリモコン探しに活用され、携帯ラジオは野球中継を観るときにテレビと同時に音を出し、二重放送で雰囲気盛り上げる為に活躍中。

お父ちゃんいわく「いつでも使えるようにしとかんといかんだろお〜。」だそうですわ・・・。

病気になってからというもの、お父ちゃんとお母ちゃんは別々の部屋で寝るようになりました。(夫婦仲が悪くなってしまうわけではなく、単にベットを置く場所の兼ね合いでございます。)日中は、お父ちゃんは2階でのんびり過ごし、お母ちゃんは1階のお店で仕事をしています。

退院直後は「目配りが出来ないから・・・。」とすご〜く心配していたお母ちゃん、日中・夜間問わず何度も何度も行き来していたようで、それだけでくたばってしまいました。お父ちゃんと相談した結果「携帯電話でも持とうか?」って話になりましたが、操作方法を覚えるのが2人共に苦手らしく、結局購入せず。

何かあった時の連絡手段といえば『大きな声を出す!』に決定!!これがまたいろんな面で効果大!

実際にトイレに行く途中で転んでしまい“やばい!!”と思ったお父ちゃんが必死で「お〜い、お〜い!!」と叫んだらしい。1度目の掛け声はお母ちゃんに届かず、体勢を整え(?),2度目の『お〜い、お〜い!!!!』これまたお母ちゃんには全く聞えず、結局自力で立ち上がり、自分でトイレに行ったらしく、用を足してから3度目の『お〜い!!!!』ようやくお母ちゃんが「なんだね?」と気付く。

「おい!!何べんも呼んだらろうが!あやうくしょんべん漏らすとこだったわ。呼んだらちゃんと来んか!」

「で、漏れたの?」「自分で行ったわ!!」「なら呼ばんといて!」「ばっかやろう!!!」

喧嘩しながらも必要な時はしっかりお母ちゃんに頼ってばかりのお父ちゃん。でも、転んでもしっかり自力で立ち上がれるようになってるんだよなあ(笑)人に頼れない時があるっていい結果につながる時もあるわな。